

An aerial photograph of a city, likely Kawasaki, Japan, showing a river winding through the urban landscape. In the background, a range of mountains is visible under a clear blue sky. The image is overlaid with a semi-transparent blue grid pattern.

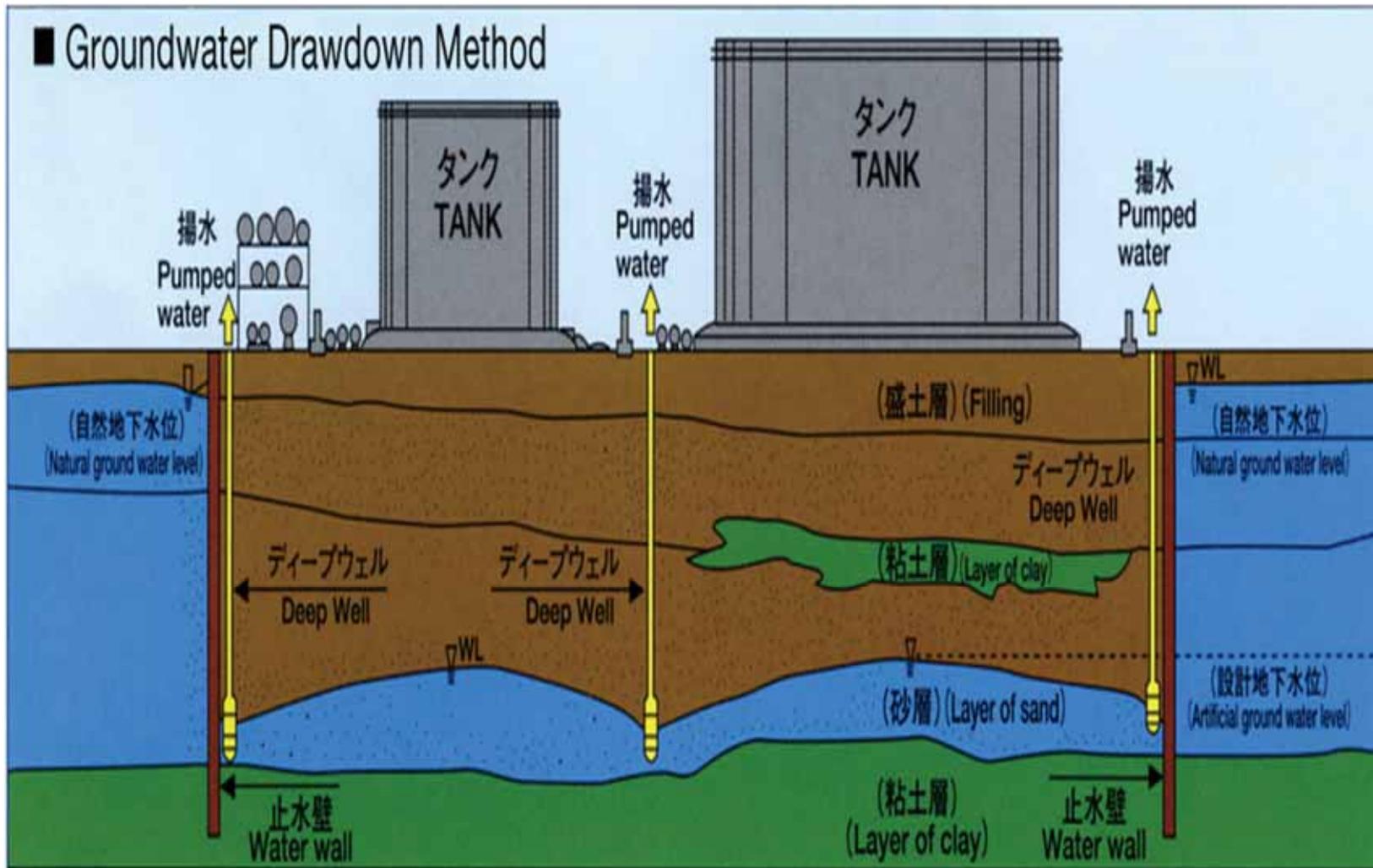
大師東部六町会役員の皆様との 情報交換会

2011年10月26日

東燃ゼネラル石油株式会社 / 東燃化学株式会社

川崎工場

液状化対策：地下水位低下法



護岸の大規模補強



東日本大震災後の取組み

- 装置は安全確保と点検のために一部停止。ERP/BCP発動。

- 出荷は震災当日の夜から再開

80年代からの液状化対策及び護岸補強工事が奏功し、設備に問題なし
和歌山・堺から製品を川崎へ転送し、地震後、通常の1.4倍出荷を継続

- 電力需給ひっ迫に応じた市中への電力供給

自家発で最大発電し、グリッドMaxで送電

5月中旬まで3万KW（一般家庭1万軒）以上を外部へ最大供給継続

夏場は再び最大供給再開

- 今春の計画停電で自家発用の燃料不足に直面した県内市内の病院や上下水道・工業用水施設に燃料を緊急提供

- SS空白地域において、コンテナによる仮設給油所建設を企画。工場から技術者を派遣して突貫工事、早期の燃料供給開始に貢献

- 塩釜油槽所へ工場から技術者を派遣して、地震・津波被災からの早期復旧に貢献。他社へも開放。

ERP/BCP、リスク想定、防災と減災、訓練と権限委譲、優先順位（PEAR）

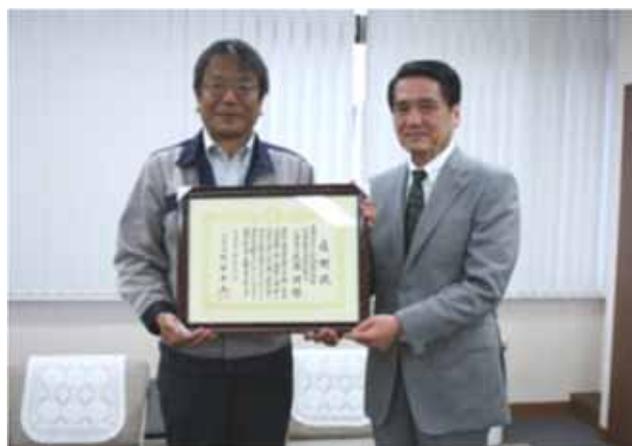
川崎市長より感謝状

感謝状

東燃ゼネラル石油株式会社 代表取締役常務取締役
川崎工場長 武藤 潤 様

貴社は東日本大震災の際に本市川崎病院に対し貴重な燃料を提供され多くの方の命と安全を守り市民の生活に安心を与えることに多大な貢献をされましたのでその功績を称え深く感謝の意を表します。

平成23年5月11日
川崎市長 阿部 孝夫



川崎市病院事業管理者の秋月医学博士(右)

仮設サービス・ステーション(陸前高田市)

